

図書教材新報

Books
teaching
materials
magazine

Vol.244

今月の特集

①教材活用シリーズ 学ぶことを楽しむ子どもたちであふれる未来を目指す

(P. 4～5)

②都道府県協会総会報告【1】(P. 6～8)

図書教材新報
Books teaching materials magazine

2025.8.25 Vol.244 (total 1873号)
1956年1月5日 創刊 毎月25日発行

ミャンマーでのドリルがつなぐ学び

第38期学校教材調査会国語科専門委員
筑波大学人間系教授

長田 友紀



日本のJICAによって、ミャンマー連邦共和国への小学校教育改革支援（CREATEプロジェクト）が2014～2021年にかけて実施された。私はその国語教育担当専門家として、暗記中心から日本のような学習者中心のミャンマー語科への転換を目指し、学習指導要領・教科書・指導書などの開発を支援してきた。毎年、数十日ほどミャンマーに赴き、師範学校や小中学校の先生方、教育省の関係者らプロジェクトメンバーと一緒に作業を進めた。

当初はミャンマー側に困惑も多く見られた。そこで日本流の国語教育を理解してもらうため、私がプロジェクトメンバーに対して日本の国語の授業を何度も行った。すると「子どもたちにこんな授業を受けさせたい」とや「こういう授業を自分もしてみたい」という声があり、徐々に協力が得られるようになっていった。最終的に作成された教科書は学校現場や子どもたちからも好意的な反応が多く寄せられ、安堵し

たものである。

しかし残念ながら、コロナや2021年2月のクーデターによって、多くの学校が閉鎖されてしまう。そこでユニセフが新教科書に合わせたドリルの配布を計画し、私はその作成者になった。日本でも教科書にはかわってきたもののドリルは初めての経験である。日本の様々なドリルを参考にすることで、子どもたちが一人、あるいは親や寺子屋の支援員などのもので学べるものをなんとか作ることができた。このドリルは新教科書とともに現在でも多くの地域で使われているはずである。

約十年間のミャンマーでの活動を通して、日本の国語教育の様々な工夫や細やかさを改めて実感することになった。またドリルが頼みの綱となり、学びをつなげている現実を垣間見ることができた。第38期学校教材調査会専門委員を拝命し身の引き締まる思いであると同時に、ミャンマーの一日も早い平和を心から願っている。

日第38期学校教材調査会 第4回分科会を開催 各社別研究会へ向けて最終確認

第38期学校教材調査会では、第4回分科会を教科別に開催した（算数科・7月11日、社会科・22日、英語科・23日、理科・24日、国語科・28日）。

各教科では、第3回までの分科会で確認した方針や調査基準に基づいて各委員が実際に教材を調査し、気がついたことなどを意見交換して、調査を進める上での共通理解を深めた。また、調査した結果をまとめる「調査結果一覧表」の形式や記入方法などの最終確認も行った。

そのほか、調査した結果を編集者へ直接伝達する各社別研究会へ向けて、日程や研究会当日の流れを確認した。調査委員は、これまで分科会で検討してきた内容をふまえ、決定した調査基準に沿って調査を行い、その結果を一覧表にまとめる。一覧表は予め各出版社へ示し、社内ですれをもとに検討して、各社別研究会に臨むことになる。

◇各社別研究会

各社別研究会は、8月19日～9月20日の間で、各教科2日間ずつ開催する。各教科の日程は下記の通り。

今期の各社別研究会は、前回と同様に国語科と算数科では、1コマ120分で、各社の希望に応じて教材の種類別（テスト／ドリル）に部屋を分かれて行う予定となっている。社会科と

各社別研究会 日程表

◇国語科

時 間	8/21（木）	8/22（金）
9:30～11:30	教育同人社	正進社
(11:30～12:30)	（昼食）	（昼食）
12:30～14:30	青葉出版	光文書院
14:45～16:45	文溪堂	日本標準
17:00～19:00	新学社	

◇社会科

時 間	8/19（火）	8/20（水）
10:30～12:00	青葉出版	正進社
(12:00～13:00)	（昼食）	（昼食）
13:00～14:30	新学社	日本標準
14:45～16:15	教育同人社	文溪堂
16:30～18:00	光文書院	

◇算数科

時 間	8/31（日）	9/20（土）
9:30～11:30	日本標準	教育同人社
(11:30～12:30)	（昼食）	（昼食）
12:30～14:30	新学社	文溪堂
14:45～16:45	青葉出版	光文書院
17:00～19:00	正進社	

◇理 科

時 間	8/21（木）	8/22（金）
10:30～12:00	青葉出版	光文書院
(12:00～13:00)	（昼食）	（昼食）
13:00～14:30	文溪堂	日本標準
14:45～16:15	新学社	教育同人社
16:30～18:00	正進社	

◇英語科

時 間	8/29（金）	8/30（土）
10:30～12:00	日本標準	正進社
(12:00～13:00)	（昼食）	（昼食）
13:00～14:30	文溪堂	新学社
14:45～16:15	教育同人社	青葉出版
16:30～18:00	光文書院	

理科、英語科は、1コマ90分で行う予定。
※会場は「協会会議室」または「出版クラブ」で開催予定。



〈国語科〉

7月4日

日小学校編集部長会を開催

小学校編集部長会（幹事長・北村有司正進社小学編集部課長）では、第9回部長会を「協会会議室」で開いた。

会議では、教著協との協議、共同許諾申請業務、学校教材調査会事業、ICT化における教材の在り方、教材の複製や公衆送信に関する問い合わせへの対応、広報活動、校務支援・採点支援システムへの対応、日本教材学会との連携等について状況確認と検討を行った。

7月14日

日中学校編集部長会を開催

中学校編集部長会（幹事長・末吉愛典正進社

中学編集部部长)では、第4回部長会を「協会会議室」で開いた。

会議では、教著協との協議、共同許諾申請業務、デジタルサービスの著作権管理、教育行政の動向や今後の在り方、教材の複製や公衆送信に関する問い合わせへの対応、広報活動、校務支援・採点支援システムへの対応、転売対策、日本教材学会との連携等について状況確認と検討を行った。



中学校編集部長会

7月15日

全全協議諸会議報告会を開催

全図協では、6月に開催した理事会、幹事会、ブロック小・中学部会長と出版社営業部長との協議会の協議報告会をオンラインで開いた。

各都道府県協会長と小・中学部会長を対象に約70名が参加し、情報共有の観点から経過報告だけでは伝えきれないような協議内容の詳細について、幹事長、ブロック小・中学部委員長、事務局より報告があった。

7月22日

小学校営業部長会を開催

小学校営業部長会(幹事長・田代和彦進社営業部次長)では、第5回部長会を「協会会議室」で開いた。

当日は、C B T化の動向に関する意見交換、ブロック小・中学部会長との協議会での検討事項に関する協議、各都道府県協会総会開催支援の検討、夏教材等の市場の動向に関する情報交換等を行った。

7月23日

中学校営業部長会を開催

中学校営業部長会(幹事長・辻田吉平秀学社営業統括部長)では、第5回部長会を山形市「山形国際ホテル」で開いた。

当日は、はじめに任期満了に伴う次年度正副幹事長の選任を行い、幹事長に正進社・杉山陽介営業部長、副幹事長に新学社・川井史中学事業部営業部長、浜島書店・木村修営業部長をそれぞれ選出した。

そのほか、各ブロックとの意見交換会の予定や、全中目安箱、全中メルマガの運用方針について確認した。

部長会後には東北ブロックの販売店との意見交換会を行い、10年後を見据えたこれからの取り組み等について製販合同によるグループディスカッションを行った。



中学校営業部長会

21世紀に求められる資質・能力の育成にー

認知能力検査

教
研
式

NINO

対象：小学校 2年/3年/4年/5年/6年 中学校 1年/2年/3年
定価：用紙 275 円/診断料 285 円

- ・各教科の学習を進める上で必要となる教科横断的な力(認知能力)を測ります。
- ・「活用力(思考力)」の育成に役立つ効果的な資料をご提供します。
- ・「学習に向かう力(メタ認知や協働性等)」についてのアンケートを用意しています。

明日からの授業に活きるー

指導と評価

「指導と評価」は、日本教育評価研究会(会長 石田恒好)の機関誌です。昭和 30 年 4 月に創刊号発刊以来、長年にわたって、教育評価のわが国唯一の月刊専門誌として刊行されてきました。

「指導と評価」を購読ご希望の方は、日本教育評価研究会に入会の申込みをしてください。会員の方に「指導と評価」を毎月送付いたします。

B5判/64 頁/前月 15 日発行 年間会費 5,400 円(送料込)

〒112-0012 東京都文京区大塚 1-4-15

図書文化

TEL.03-3943-2511 FAX.03-3943-2519
https://www.toshobunka.co.jp/

教材活用シリーズ 第181回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果が得られるポイント（場面・方法）などをご紹介します。

学ぶことを楽しむ子どもたちで
あふれる未来を目指す

(株)光文書院
デジタル教材新機能搭載と
夏の新教材登場！



(株)光文書院
EdTech 統括

光文書院は、「学ぶことを楽しむ子どもたちであふれる未来を創造すること」をミッションに掲げ、全国の小学生を対象とした教材事業を展開しています。大切にする学力観は、営利的な受験競争では決してありません。子どもたち一人ひとりの存在全体と向き合い、すべての子どもたちに学びの機会を提供、「子どもたちの心の底から学習意欲が湧き起こるような教材」を開発し、すべての子どもたちに届けることを目指しています。今回は、前回掲載させていただいた『ドリルプラネット』『CBTタワー』のさらにバージョンアップした内容をご紹介します。

1. 子どもが選び、自ら学ぶデジタルドリル
『ドリルプラネット』

「子どもたちが、学ぶことを楽しみ、没頭し夢中になって取り組む力を育む」というビジョンを具現化すべく、「トイ・ストーリー」のキャラクターを採用したデジタルドリル『ドリルプラネット』の開発を2021年に着手し、2023年に全国の小学校へ向けた販売を開始しました。

これまで紙教材を長く発行してきた企業として、両方のよさを活かした新しい学びを創造したいという想いから、紙ドリルに加えデジ

タルドリルの開発にも力を入れ、「紙とデジタルをつなげる」新しい学びの実現に取り組んでいます。

『ドリルプラネット』では、子ども自身が「きほん」「れんしゅう」「たしかめ」の3段階を選べるようになっており、効果をさらに高めるために、「トイ・ストーリー」のキャラクターを活かし、子どもたちのモチベーションをあげる機能を多数搭載しています。

2025年7月1日には、以下の機能を新しくリリースしました。

◆夏休み期間限定で、夏までの復習ができる「夏までのまとめ」

「夏までのまとめ」単元で、国語・算数の学習内容が復習できます。

夏休み期間中は児童が選んだバディから毎日ひと言がもらえるしかけもあるので、飽きずに学習に取り組めます。また、夏休みの特別ビンゴで、指定された内容に取り組むと、自分だけのアイスのタワーが完成します。



▲夏のカレンダー



▲夏のビンゴ

◆フラッシュカード

新テーマを7点追加しました。内容は国語、算数、理科、社会、英語、その他合計で25テーマになります。答えを確認しながら進める「かくにんモード」や、カードの順番、めくりかた、速さなど、児童一人ひとりに合わせて設定することが出来ます。

▼お道具箱設定画面



▲お道具箱フラッシュカード

2. 新登場！小単元毎に理解度を確認できるデジタル形成プリント『CBTタワー』

2024年度からは、習熟を目的とした『ドリルプラネット』に加え、評価領域をカバーする新デジタル教材『CBTタワー』の販売を開始しました。

子どもたちの自主学習をメインにして、1問1答で解き進める『ドリルプラネット』に対し、『CBTタワー』は、デジタルならではの良問で、先生たちが子どもたちの学習理解度を見極

め、その結果に基づき学習や授業を改善し、学びの可能性を広げるためのサポートをします。

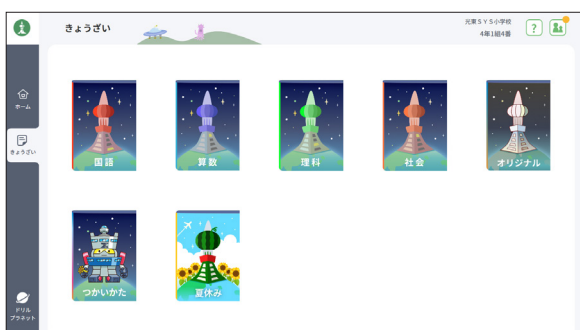
『CBTタワー』は、先生たちの思いとともに、子どもたちの心に寄り添うようデザインされています。子ども視点で問題をたしかめながら、子ども自身でつまづきに気づき、ともに学び、互いを励まし合って学んで欲しいという思いを込めて作成しています。

問題は、小単元毎に3〜10問で構成されており、1回5〜10分で実施可能。授業の進度に合わせて、スモールステップで理解度を測れるので、これまでプリント指導に忙しかった先生たちの時間にスペースを生みながら、テスト前や授業中の子どもたちの学びの空白時間を埋めていきます。

2025年度版には、以下の機能を新しくリリースしました。

◆学期のまとめ

小単元だけではなく、期末テストのコンテンツを追加しました。「夏休み」のタワーから取り組むことができます。学期毎に学習内容の定着度を測ることができます。



▲CBTタワートップ

3. 新登場！紙もデジタルも！

『かんへき！デジタル夏休み』

2025年度は新しい夏休みの教材『かんへき！デジタル夏休み』の販売を開始しました。「夏のえにつき（1・2年）」「夏のワークシート（3・6年）」「夏の一言日記」「読書感想文の書き方」「原稿用紙4枚」「各教科のまとめテスト」といった紙ならではの付録が「まい夏ポケット」という台紙にセットされています。それと合わせて7月1日から9月30日まで3か月の期間限定で『ドリルプラネット』『CBTタワー』がどちらも使えます。紙もデジタルもどちらも使える教材で、毎日楽しく学べるしかが満載です。すでに『ドリルプラネット』または『CBTタワー』をお使いの場合は、「まい夏ポケット」だけの販売もしています。



▲まい夏ポケット表紙

おわりに

光文書院のデジタル教材『ドリルプラネット』『CBTタワー』は、今までもこれから、子どもたちが学びを通して、自らの物語を紡いでいけるよう、先生や子どもたちと関わりながら、未来へ向けて進化を続けていきます。

都道府県協会総会報告【1】

「①開催月日、②開催場所、③出版社（代表）と事務局などの出席者」

※ 7～8月に開催された各都道府県協会の総会の様子を3回に分けて報告します（出席会員数は10月号の「都道府県協会の総会をふり返って」でまとめて報告します）。

* * * * *

◆東京都（小学）協会（吉田勉会長）

役員改選、新会長に岩崎裕彦氏

① 7月19日、②千代田区「出版クラブ」、③新学社・佐野直樹小学事業部営業部長代理、全図協・穴戸亮太事務局次長、岡嶋真衣職員。協会運営に関する規約の一部改定を承認。積立金の使途について意見交換。役員改選を行い、新会長に岩崎裕彦氏を選任。

◆愛知県協会（植松雅範会長）

勤続者表彰式を開催

① 7月23日、②名古屋市「サイプレスガーデンホテル」。支部長等の交替を承認。10年勤続者への表彰式を開催。

◆群馬県協会（狩野正樹会長）

総会後に講演会を開催

① 7月25日、②高崎市「ホテルメトロポリタ

ン高崎」、③全図協・穴戸亮太事務局次長。毎年恒例のソフトボール大会の運営や全図協メルマガ企画のためのアドレスの共有を確認。

総会後に、穴戸事務局次長による「教育行政の動向について」自治体採択デジタル教材による市場の変化」と題した講演会を開催。

◆栃木県協会（伊藤勉会長）

小規模校対策の継続実施を承認

① 7月26日、②宇都宮市「ホテルニューイタヤ」。今年も販売店支援事業として、小規模校対策を継続実施していく方針を承認。10月に栃木で予定している北関東ブロック主催研修会への参加協力を確認。

◆千葉県協会（上杉浩司会長）

総会前に講演会を開催

① 7月26日、②千葉市「ポートプラザちば」、③文溪堂・長尾正道営業部課長、



千葉県協会



群馬県協会

申し上げます

株式会社 正進社
東京法令出版株式会社
株式会社 図書文化社

株式会社 日本標準店堂
株式会社 浜島書
株式会社 文溪堂

全図協・渡部竜士専務理事。
委任状の電子化対応や常任理事の人数変更のため、定款を変更。

総会前に、全図協・渡部専務理事による「教育行政の動向とこれからの私たちの取り組み」と題する講演会を開催。

◆神奈川県(小学)協会(後藤委弘会長)

規約の改定について協議

①7月26日、②横浜市「かながわ労働プラザ」、③文溪堂・松村吾朗営業部長、全図協・宍戸亮太事務局次長。

県協会や支部会の活動を報告。出版社との意見交換の現状や今後の取り組みについて意見交換。役員報酬に関する規約の改定については次期役員の意向もふまえて来年度の総会で審議していくことを確認。

◆神奈川県中学協会(宮台賢一郎会長)

研修会企画について協議

①7月26日、②横浜市「かながわ労働プラザ」、③全図協・宍戸亮太事務局次長。

各地の採用状況や学校からの集金方法について情報交換。県協会主催の研修会企画について協議。

◆徳島県協会(井上哲也会長)

デジタル教材の導入等による採択への影響について情報交換

①7月26日、②板野郡「サンライフ北島」。デジタル教材の導入や端末の更新による採択への影響、FAX見直しに関する学校現場の

状況等について情報交換。図書教材ネットの研修会を企画していく方針を確認。

◆東京都中学協会(依田誠会長)

総会前に学校注文システムの紹介や全販システムの説明会を開催

①7月28日、②新宿区「協定会議室」、③浜島書店・木村修営業部長、全図協・宍戸亮太事務局次長、岡嶋真衣職員。

総会前に学校注文システムとして実際に運用している会員からの紹介や全販システムの説明会を開催。その後、情報交換会として、各自治体での教材費の公費化の動向や自治体で導入している集金システムの運用実態等について情報交換。

◆京都府協会(中山剛会長)

総会前に講演会を開催

①7月30日、②京都市「京都テルサ」、③五ツ木書房・河村匡剛取締役営業部長、全図協・渡部竜士専務理事。

各支部からの情勢報告。自治体採択デジタル教材や教材採用制限の状況について情報交換。教材採択促進に向けて今後の対策について検討。

総会前に渡部専務理事による「教育行政の動向とこれからの私たちの



京都府協会

い 舞 見 お 暑 残

青葉出版株式会社
株式会社五ツ木書房
株式会社学宝社
株式会社教育同人社

株式会社光文書院
株式会社秀学社
株式会社新学社

取り組み」と題した講演会を開催。

◆秋田県協会（田村有貴会長） 総会後に講演会を開催

① 8月1日、②

秋田市「イヤタカ」、

③ 全図協・穴戸亮

大事務局次長。

慶弔規程と役員

出張旅費に関する

協会規約の一部改

定を承認。

総会後に、穴戸

事務局次長による

「学校用教材の市

場の変化と協会活動」と題した講演会を開催。



秋田県協会

全図協 総合補償制度のご案内

全図協オリジナル

充実の補償内容！
この保険があれば安心！



補償その1→商品搬入時に学校
内で生じた対人・対物事故

補償その2→集金時や事務所での
現金・小切手盗難



＜お問合せ・お申込み先＞

全図協事務局（TEL 03-3267-1041）までお願い
します。

＝都道府県協会 会員だより＝

☆代表者・商号・住所変更のあった会員☆
＜代表者変更＞

栃木県・・・(有)たけや（栃木市）

新代表・竹光志津也

愛知県・・・(有)若葉書房明壁商店（常滑市）

新代表・明壁利郎

愛知県・・・(有)竹林堂教材（豊田市）

新代表・森久雅也

☆退会社☆

長野県・・・(有)長野光文社（中野市）

長野県・・・山近教材社（諏訪郡）

長野県・・・(有)池上教販（茅野市）

編集後記

今年夏は夏の早いうちから暑い日が続きました。小学校・幼稚園で一学期の間に予定されていた子どもたちのプール授業ですが、今年は気温が高いことを理由に中止になる日が多く、実際に実施できたのが数回だけになっていました。自分が子どものころは逆に気温が低くて中止になっていた記憶があり、この数十年で暑さが厳しくなったことを思わされます。

夏の風物詩のお祭りや花火大会なども、猛暑を避けるために開催時期が変更になっていたりすることがありました。季節に合わせた子どもたちの学習の題材・活動や行事などが、将来的にはこれまでに変わってくることもあるのかもしれない。

（み）

【お知らせ】

日本教材学会 第37回研究発表大会

□開催日 2025年9月27日（土）～28日（日）

□会場 香川大学教育学部

□主要内容（予定）

・自由研究発表（33件）

・研究プロジェクト発表（3件）

・シンポジウム

テーマ：深い「探究」の学びに導く
教材の在り方

基調講演：小原友行先生（広島大学名誉教授）

司会：伊藤裕康先生

（文教大学教育学部教授）

シンポジスト

国語科：細川太輔先生（日本教材学会副会長）

数学科：松島 充先生（香川大学教育学部教授）

音楽科：越川徹郎先生

（東京学芸大学特任講師、作曲家）

申し込み、内容等の詳細はホームページをご覧ください。

＜日本教材学会ホームページURL＞

<https://kyozai-gakkai.jp/studies/tournament37/>

皆さまのご参加お待ちしております。

